



有松まちづくりの会役員会 (2月26日)

有松まちづくりの会の設立50周年を記念して3月20日に開催する「有松を語ろう会」について、「有松の魅力と課題」など5グループで討議することとし、進行役や記録係について人選を行いました。また、多くの方から意見を求め、今後の会の活動指針とするため、会員以外の参加者も求めることとしました。皆様どうぞご参加ください。

小松孝泰写真展④ 蕨(いらか)と桜



3月20日(水・祝)「有松を語ろう会」 15時～(於:竹田家住宅)
 ■ 参加希望の方 ①担当世話人に連絡
 ②あずまやさんへFAX052-621-1024 または店頭へ お願いします。

moss ARIMATSU 工事現場見学会 (1月28日) 於: 安藤来助商店

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された有松には、江戸時代の面影を残す町並みが残されています。現在、これら古民家をどう生かし、地域の活性化に結び付けるのが課題となっています。歴史的な建物の利活用を進めようという流れの中で、注目すべき動きがありました。

モス アリマツの整備です。"ありまつ中心家守会社"が進める、安藤来助商店の在庫置き場をレンタルスペースにしようとするもの。

この日は工事の進捗状況を見るもの。担当の武馬淑恵さんの案内で参加者約10名が建物内・庭を見学。雨漏り被害の少ない古材をできるだけ再利用されていました。庭は藍や木綿の栽培スペースとか。3月3日プレオープン。集合・解散場所のMADOでふるまわれたおしるこが美味しく、かつ心づかいが感じられました。



福よせ雛 準備に大忙し (1月中旬～2月中旬)

於:有松東海道一帯

1月中旬から1か月以上、設置作業が進められました。今年は、福よせ雛・福よせぬり絵・福よせ川柳いずれも約600点。実行委員会の六鹿晴美さんを中心に、都合がつくメンバーでほぼ連日行われていました。

記者も取材を兼ねて2度お手伝い。

1月25日は有松郵便局の壁面に、名古屋短期大学の皆さんと一緒に設置。

1月31日は絞会館で、3段雛飾りを1階に設置。のち、2階でも作業。多くの人形の見せ方に工夫が必要でした。改めて学生さんや委員の皆さんの福よせ雛に対する深い愛情に気付かされました。

岡家住宅には、我が子の塗り絵を探しに多くの親子連れが来ていました。

郵便局

岡家住宅



絞会館 1階

絞会館 2階



おこしもん作り (2月19日)

於:旧カフェ庄九郎・彩 Aya Irodori



NPO法人コンソーシアム有松主催。昨年同様一日5回・各1時間で実施されました。訪れた10:30の部は幼児の親子連れ3組と大人1人。袋の米粉に熱湯を注ぎ、練り込む。その間、子供は木型を選ぶ。木型にラップを敷き、練った米粉を入れ手で押す。子供でもできる内容です。着色後、蒸す。蒸す間、会場を変え和紙染めをする。

おこしもんは名古屋・尾張地方独特の雛菓子。昔、雛祭りに家庭で作られてきた子供のおやつで、親子で作りたいものです。醤油や砂糖醤油をつけて食べます。

天満社初天神祭 (1月25日)

もともと大宰府の天神を勧請し祇園寺に祀っていた。天満社の場所に遷座し、有松の氏神としたことに由来する行事。

天神さんの命日25日、とりわけ1月は新役員初のお参り。副総代たち8名が出席。後、玉串のささげ方の説明あり。

祇園寺初午前夜祭(2月5日)

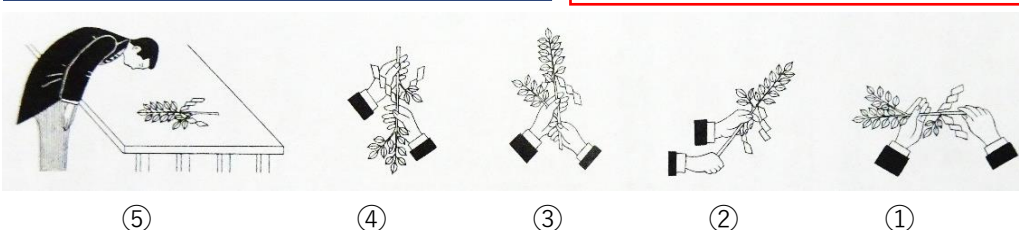
奈良時代に京都の伏見稻荷大社に祀られている五穀をつかさどる農業の神様が鎮座されたのが初午の日とか。この日文嶺講の三役が提灯に明かりを灯して、五穀豊穡を祈願された。



玉串奉奠(ほうてん)

手順 ①⇒⑤

時計回りに回す



ようこそ 多くの小学生が地域学習で有松に

冬の時期、有松を訪れる小学生で東海道沿いは賑わいを見せています。

有松の魅力を伝える上で、小学生への案内はとても大切です。案内の有松あないびとの会のお一人は「幼い心に有松の素晴らしさを印象付けられます。そして、案内する側にとっても子どもへの案内はガイド技量を試されるものです」と、仰っていました。

12月に学習を終えた有松小学校を除き、4校の様子を簡単に紹介します。

● 太子小学校3年生（1月18日）

松野根橋から東海道を西へ。中町信号を曲がって有松駅へのコース。日頃案内する機会は少ないが、古民家が点在し有松らしい景色が広がっていた。途中“絞りLab”で後継者育成の様子を窓越しに見る。約60名を10班でガイドする。熱心に話をメモしている子がたくさんいたなあ。



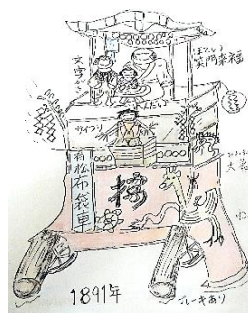
● 平子小学校3年生（1月29日）

学年を3グループに分け、その一つが有松見学。約25名を3人でガイド。東海道を東へ、一里塚から岡家・天満社に寄って帰校。小学生に天満社を案内する機会はまれ。境内に入れていただいた。紙芝居風の工夫した案内に、集中して学習していた。



● 桶狭間小学校3年生（1月31日）

約120名が、前半と後半に分かれて有松へ。各10班の小グループでの案内。絞会館・山車会館を巡るコース。山車まつりを見たことのある子もいて、その時の思い出を話す子もいた。子どもとのやり取りが温かい場を作り出していた。



● (豊明市)中央小学校4年生（2月7日）

初めての有松来訪で、電車利用。約100名を12班に分けて案内する。滞在時間約2時間と他校に比べ長めだが、絞会館・山車会館と岡家住宅の3館入館でゆとりはあまりなかった。4年生ということもあり、質問に対する反応が良かった。逐一メモをしたり話に聞き入ったりしている子も少なくなかった。帰りの電車を待つ間も記録に余念がない。

更に周辺の学校に呼びかけ、有松での学習をする学校を増やしていきたい（あないびと談）と思わせる小学生の地域学習でした。



岡家住宅に車いす配備（2月16日）

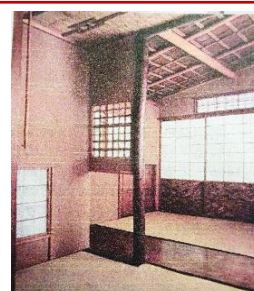
これまで有松・鳴海絞会館にしか“車いす”が用意されていませんでしたが、この度岡家住宅にも配備されることになりました。岡家住宅土間に置かれています。有松東海道の町並み案内に役立つことでしょう。

有松を訪れてくださる方がだいぶコロナ前に戻り有難いことです。年配客も少なくありません。車いすの配備により足の不自由な方ばかりでなく、年配客も一層安心して有松を見学できるようになることでしょう。



有松の茶室 ～有松あないびとの会勉強会より～ (2月20日)

江戸後期の有松では大店の絞商が軒を連ねていましたが、竹田庄九郎家を始め多くの店が西に賓客を迎えるための門を設けていました。門より庭の見える座敷へ通し、茶室でもてなしていました。そのため、今でも多くの茶室が残されています。右錦絵は「丸屋丈助店先」で、西の門の奥に籠が描かれています。



井桁家①

井桁家の茶室「問月」①は、下村実栗(みつよし)の指導のもと建造されたもの。山形屋の茶室②も彼の好みのものと伝えられています。尾州久田流は彼にはじまります。狩野派の絵師として知られる下村丹山(たんざん)の長男として大高に生まれました。西行庵(1833～1916)とも称し、尾張の茶の湯の一角を占めていました。

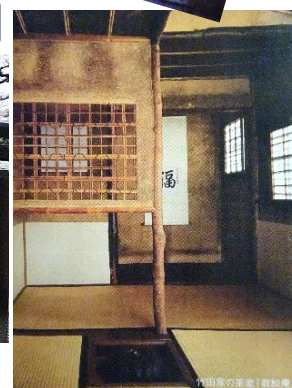
山形屋②



有松のおもてなし 有松茶会 (2月25日) 於:竹田家住宅

お茶の文化が盛んだった有松、絞商はお茶でお客様をおもてなししました。そんな文化を蘇らせようとの企画です。「栽松庵」でのお茶会、書院での点心のお食事会、三番蔵では絵付け体験が行われていました。

(NPO法人コンソーシアム有松主催)



催事・行事予定

2月23日～3月24日 春のありまつさんぽ道福よせ雛と町歩き 東海道一帯 同実行委員会
 3月3日(日) 10:00 アリマツーケット 有松天満社一帯 ありまつ中心家守会社
 3月3日(日) 14:00 ひな祭りライブ二胡・箏 棚橋家住宅 有松町家ライブ実行委員会
 3月12日(火) 13:30 一里塚清掃 有松まちづくりの会・有松あないびとの会
 3月14日～17日 10:00 有松まちなみ美術館 旧庄九郎カフェ・旧山田薬局

NPO法人コンソーシアム有松

3月14日～17日 10:00 有松史料調査保存会 第3回発表会 棚橋家住宅
 3月17日(日) 9:30 有松天満社春季大祭 有松天満社一帯 有松天満社文嶺講
 3月17日(日) 11時・12時・13時・14時 無料町並みツアー 岡家住宅 有松あないびとの会
 3月18日(月) 18:00 有松町並み相談会 コミセン
 3月20日(水・祝) 10:00 福よせ雛散策会 有松東海道一帯 緑区ルネッサンスフォーラム

3月20日(水・祝) 15:00 有松を語ろう会 竹田家住宅 有松まちづくりの会

3月23日(土) 13:00 第4回東海ブロック町並みゼミ松阪大会 松阪市産業振興センター
 3月24日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
 3月25日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp 取材・撮影 伊藤総俊

有松まちづくりの会はホームページを公開しています。

